

昭和62年8月11日 **発行**、神奈川県平塚市役所 編集、企画部広報課 〒254 平塚市浅開町 9 番 1 号 - 電話23-1111



新計画策定 の必要性は

資源が多く存在しています。 される若者など、活用できる 業集積、さらに、大学に象徴 う新しい時代をリードする産 育成です。 今回は、これらの有形、無 イテク産業、情報産業とい これは、平塚市のもつ海、 丘陵という自然資源と、 います。 りの方向が、市民にわかりや これは、これからの都市づく すくするためと、市民と行政 ェクト)の明示であります 点的に取り組む施策を明示し が協力して活力を結集し、

標となる人口増の将来見道

しかしこの間、計画の指

とができました。 多くの成果を積み上げるこ の健全育成の推進など、数

急速な進展、急激な経済変

い平塚のめざす都市のすが

誇れるまちづくりを進めた

しとの格差や高齢化社会の

平塚市は、昭和三十六年以

都市づくりの指針として

市総合開発計画」として策定 昭和五十五年に「第二次平塚

形の地域資源を十分活かし、

たいと考えているからです。

発展させることによって、

通めてきたもので、今回、

てきました。現在の計画は、

総合計画

の特徴は

の温かいご理

多岐にわたる市政運営が展

ところであります。

聞されてまいりました。お として、この計画を指調に 計画は、都市づくりの指針

計画は、土工年余と開近

この「仮称新平塚市総合

に迫った一十一世紀の初頭

さんから幅広いご提言やご

台」において、市民のみな

かげさまで、これまでに市

での三年間となっています。

平塚市の特性の重視と個性の 策定する総合計画の特徴は、塚市独自の個性を創出し、 みやすく愛着が感じられる都 市づくりを進めたいと考えて また、重点的施策(プロジ (it

> 商店街の整備 合公園や中心

いただき、総 解とご協力を

をはじめ次代を担う背少年

個性と魅力を

き、平塚市総

合開発計画審 意見をいただ

五岁多大死 川京一

として、さらに発展させる のまちを海と光にイメージ 新たな展望に立って私たち を展望した長期計画であり、 ために策定するものであり ます。この計画では、新し される湘南を代表する都市 を十分に生かして、平塚ら け平塚市のもつ魅力と個性 ただきたいと考えております。 に誰もが住んで良かったと しさを伸ばすことはもとよ 来るべき二十一世紀に向 市民のみなさんと一緒 得た後、市議会の答申を 会の議決をい

孫に誇れるような都市にして 源を十分に活かした都市づく 酸など自然環境に恵まれてお 的な位置にあって、南に湘南 こととしたものです。 基本構想の素案を発表しまし に二十一世紀初頭を展望する 見直す作業に手をつけ、ここ もとに、総合計画を全面的に りを進め、次代に生きる子や している住みよい都市です。 の海、東に相模川、北西に丘 平塚市は、こうした考えの 私たちは、こうした地域資 平塚市は、湘南地域の中心 この計画を全面的に改定する 商・工・農業などの発達 様な社会情勢の変化と市民ニーうことにしたものです。 化や価値観の多様化など、様 十三年度から七十五年度まで を展望し、基本計画は昭和六 側で構成します。 六十三年度から六十五年度ま の十三年間、実施計画は昭和 基本構想は二十一世紀初頭 その理由には、人口の高齢 今回策定する総合計画は、 計画の構成と期間 です。

基本構想、基本計画、実施計 激しく、それらに的確に対応 中間年次で見直しを想定する 間を短くしたり、基本計画も など、社会の諸情勢に機敏に するためには、実施計画の期 対応できるようしていく考え しかし、社会情勢の変化も

した第二次平塚市総合開発

いく必要があります。

総合計画」を発足させるた から新たに「仮称新平塚市 め、準備を進めてまいった ともあり、昭和六十三年度 発計画や県の第二次新神奈 に、国の第四次全国総合開 川計画の改定が行われたこ など社会経済情勢は、 く変化してきました。さら 大き 創造とうるおいの湘南の

れる「まちづくりフォーラ 月下旬から各地域で開催さ た。この素楽をもとに、 本構想の素楽を掲載しまし 特集号には、そのうちの基 により構成されます。この 構想・基本計画・実施計画 みました。 都市 ひらつか』 新しい総合計画は、 と定めて

あなたのご意見をお聞かせください 21世紀へ向けての平塚市の都市づくり構想は、

ら市民のご意見を聞きながら、取りまとめに入り、以後、

審議会に諮問するとともに、議会にも審議していただき、 本年度内に決定していく予定です。 よりよい基本構想づくりのために、 あなたが平塚市の 都市づくりに望むことなど、お気軽にご意見をお寄せく

ださい。

電話、はがき等、何でも結構ですので、9月5日まで に下記へご連絡ください。

平塚市企画部企画調整課 〒254 平塚市浅間町9-1 電話23-1111 内線326,327

私たちは、社会がめまぐるしく進歩し、変化する時代の中で、二十 明日のまちづくり

都市づくりの趣旨 を考え、都市づくり計画に参加していただきたいと思います。 紹介します。市民のみなさん、この基本構想の素案を基に、明日の平塚 視点に立った新しい都市づくり計画の策定を進めています。それでは、 世紀を迎えようとしています。平塚市は、こうした流れの中で、新たな 一十一世紀初頭を展望した「仮称新平塚市総合計画」基本構想の素案を

また、国及び県の計画が二

十一世紀を展望した、大幅な まちづくりを考えて、ご意見 が必要となってきました。 ーズの変化により、その対応

変更を伴っています。

基本構想から計画づくりを行 こうしたことから、今回は 方針です。 ぜひ、市民のみなさんに、

をお寄せくださるようお願い んでいただき、明日の平塚の 総合計画基本構想の素案を読



て、基本構想を決定していく だくなど、十分に検討を加え

回に分けて、「まちづくりつ ると同時に、 な意見をいただかなければな から、市民のみなさんに十分 の共通目標を定めるものです

基本情想は、市民と行政と

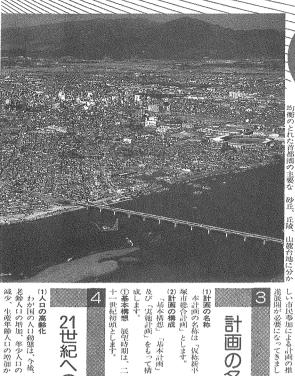
基本構想の素楽をお知らせす りません。そこで、広報紙で

八月下旬から八

議会に提案して審議していた

立場で検討する番議会、また、 オーラム」の開催、専門的な まちつくりつ

世紀初頭をめざす 都市のすがた



"基本計画

成しを想定します。 間とし、中間年次において見 昭和七十五年改までの十三年 ②基本計画 計画期間は、

③実施計画 計画期間は三か

報

教育、医療等の個人向け

年とし、毎年度の予算編成の

指針とすると共に、必要に応

じて見直しを行います。

本市の概要

(1)位置と地勢

部に位置し、商・工・農業の あたる神奈川県のほぼ中央南 本市は、首都五十二八間に 岸線から西北に広がる末広型 地域中心都市であります。 市域は、約四千八百二の海

をなし、 地形的には、平野、

しい市民参加による計画の推 め、新たな視点にたった、新 多様化、高度化に対応するた の高齢化、先端技術化、情報 されています な社会経済環境の変化が予測 また、新たな市民ニーズの

値観の多様化など、さまざま 画」を改定し、二十一世紀に 国際化の進展、市民の価 は「第二次平塚市総合開発計 くりの長期的指針とするもの

要な活性化の鍵となりましょ

であります。

二十一世紀に向けて、人口 10 を明らかにし、新しい都市で くりの基本理念と施策の大綱 向けた時代潮流と本市の課題 一世紀初頭を展望した都市で を的確に見極めながら、二十 このようなことから本計画

・先端産業の誘致、 への対応が必要となります このため、次のような課題 の高度化 、既存工業

・農業へのバイオテクノロジ 情報通信機器の商業への活 高生産性農業への展開 の活用による高付加価値、 ーやエレクトロニクス技術 とた

計画

の名称と構成

の大幅な増加にとどまらず、 新しいタイプのレジャー、情 ービス化は、第三次産業人口 次に、経済のソフト化・サ

和六十三年度を初年度とし

(2)特性の重視と個性の育成 進します。

て尊重され、心がかよい、生 (1)人間中心の施策展開 **誇りと思える都市づくりを推** 次の基本的考え方に留意しま 社会経済環境変化を踏まえ きがいが生まれ、住むことが 市民一人ひとりが人間とし 本計画の策定に当たっては 計画の基本的な考え方 (3)重点的施策の明示 市づくりを推進します 本市独自の個性を創出し、住 無形の地域資源を十分に活か みやすく愛着が感じられる都 し、発展させることによって、 本市に存在する固有の有形、

(7)民間活力の導入

の協同による都市運営という

都市づくりは、市民と行政

民と行政の協同による都市づ め、市民と行政の活力を結集 くりの目標の明確化を図るた 市民にわかりやすくかつ市 立場から、民間活力を積極的 効果的な都市づくりの推進に に都市づくりに活かしながら

れ、四季温暖な気候に恵まれ た住みよい土地であります。 昭和七年四月一日、県下で 減的な被害をこうむりました。 街地は微しい空襲を受け、壊

への対応が必要となります。

の推進

重点的に取り組むべき施

情報通信機能の活用による

行政の効率化と市民サービ

(4)優先順位の職業 策を絞って明示いたします。

(2)市の沿革

次第に軍需産業都市に変ぼう ましたが、戦火の拡大に伴い 都市として第一歩を踏み出し 四番目の市制を施行し、商工 等の産業発展と共に、住宅地 な地域中心都市となっていま として発展し、首都圏の主要 在の市域となり、商業や工業 にかけて町村合併を行い、現 昭和二十九年から三十二年

健康づくりの推進

(3)産業構造の変化 二十一世紀初頭の産業構造 等による地域PR 備を行うと共に、イベント

しました。

昭和二十年七月十六日、市

並新の進展等を背景に産業の 先端技術化と経済のソフト 化・サービス化が予想されま 国民の価値観の多様化、技術 を展望すると、企業の国際化、 経済活動のみならず、市民生 何を強めていく中で、産業・ のソフト化・サービス化の方

計画策定の背景と意義

核とした地域技術の育成が重 業の導入を含め、先端技術を 経済においても、先端技術産 先端技術化は、今後は地域 御されます。 化が展開されていくものと子 ない変革をもたらす高度情報 への対応が必要となります。 このため、次のような課題

・新たな社会システムづくり

造において光端技術化と経済 (4)情報化の進展 社会経済は、今後、産業構

活の分野についても、従来に 込まれます。

・国際姉妹都市の提携 感覚の醸成

への対応が必要となります。 国との交流を深める 国際化時代に対応する国際 このため、次のような課題 行政・市民等が、広く諸外

・生活基盤整備の推進や自然 ・個性と魅力に満ちた都市整 と人間が共存できる環境を 確保すると共に、総合的な ・海、川、丘陵を活かしたレ への対応が必要となります されます。 サービス業が成長すると予想 このため、次のような課題 中心市街地の魅力向上

スの向上

用するため、社会経済環境の

限られた財源を最大限に活

変化や新たな時代潮流などを

ジャー・レクリエーション 機能の整備を推進 ・プライバシーの問題への対

日本の市場占有率は今後とも (5)国際社会の進展 ・人と人とのふれあいによる 世界経済の多極化が進み、 交流の場づくり 胶

流は、増大していくものと見 拡大し、わが国と外国との交 5市民と共に育てていく計画 りに努めます 択的に推進が可能な計画づく 踏まえながら、今後、優先的 との合意形成を得ながら、選 に取り組むべき施策を、市民

づくり 施策推進の選択的責務を踏ま 基本的には行政主体としての えた上で、市民の参加を得な 都市づくりに当たっては、

から、市民と共に作り、育て

ていく計画づくりに努めま

(6)社会システムづくり

みづくりの推進に努めます。 間と行政とが協同しうる仕組 飯的に参画しうる、また、民 は都市の魅力づくりを進める 地域の個性化、活性化あるい 生活ニーズに応え、さらに、 ため、民間が都市づくりに積 市民の多様化・高度化する

・連帯意識と相互挟助につ

を身につけた背少年の育成

・働き手の高い福祉負担を終

て市民各層への意識酸成

基本構想・素案 開催日程 4

(会仓 地区 花水公民館 地区 勤労会館 :、; (区 松 大野公民館 区 神田公民館 区 大住中学校 区 金目公民館 旭北公民館 教育会館

ることになりました。 の一環として、「第二回まち 大綱を定めるため、市民参加 十月二十五日教育会館で実施 、くりフォーラム」を開催す すでに、第一回目は、昨年

21世紀への展望と課題

定にあたり、市民と行政の共 それを達成するための施策の 通の目標となる将来都市像と、 平塚市では、総合計画の策

行政の双方向で、 鸠 よりよい計

9月5日は ただし、

をお聞かせいただき、市民と えています。大勢の方の ありたい」といった、ご意見。画づくりを進めたいと考

参加をお待ちしています。

76

きらめく海海の庁

新平塚市総合

Ξ



造とうるおいの湘南の都市 きらめく海 緑の丘 創

口は、おおむね三十万人と想

二十一世紀初頭における人 定します

めざす都市のすがた

陵を有し、恵まれた自然環境 恵まれた都市であり、また、 を背景に、豊かな生活環境に 本市は、湘南の海、川、 れた地理的条件のもとで 早くから商工業が集積し、首 口の高齢化、先端技術化、情 取り巻く社会経済環境は、人 しての役割を担ってきまし 都圏の主要な地域中心都市と り、新たな展型にたって、 より、大きく変化してきてお 報化、価値観の多様化などに しかしながら、近年本市を







拡大しています。

る市街地中心部から北東部

2

土地利用の基本方針

来 0

陵などの自然環境資源は、地 域に豊かな生活環境を創出さ

本市を取り巻く社会経済環

必必

せる貴重な資源であります。

ると共に、資源のもつ有用性

機能集積との連携、 点を、既成市街地、既存都市 要な新しい機能を整備する拠 境変化に対応するために、

機能分担

公共、公益用地については、

用地の整備に努めます。 もつ産業用地、学術研究機能 図るため、良好な操業環境を に向けて、新たな産業集積を

に向けて、

快適で活気のある都市づくり

た親しめる親水空間化を進め 河川沿や海辺の魅力を活か

しれらの資源は極力保全を図

①自然環境の保全と積極的活用

②新たな機能を導入する拠点 極的に活用しながら維持、符

市内に存在する海、川、

の確保

対応する新しい産業構造形成

河川等の再生を図りながら、

のように設定します。 ための土地利用の方針を、次

理に努めます。

特米の本市の発展に資する を、市民の生活

諸活動に積



(1)健康と生きがいに満ちたふ 快適な湘南の部市 りあげます。 るため四つの基本目標を設定 このめざすすがたを達成す 新しい平塚の都市をつく 市民と行政が一体となっ 展 望 庤

3)壁かな人間性と文化をはぐ くむ魅力ある湘南の都市 る活力ある湘南の都市 (2)多様な産業と技術を創出す (4)都市活動と自然が調和した

れあいのある湘南の都市

期 本市は、

この基本構想は、二十一世、す

都市の骨格形成の方向

の竹格は、平塚駅を中心とす たが、近年、人口の増加とあ **陵部から構成され、市街地は** いまって市街地は外線部へと とする地域に展開してきまし 平地部の南部、平塚駅を中心 本市の将来に向けての都市 本市の土地は、平地部と丘 市街地を機能的に連絡させ、 せて整備、機能の充実に努め 体のバランスある発展を目指 西部に放射状に伸びる放射軸 都市の竹格を形成し、本市全 つ、各軸間を結ぶ幹線軸を併 の整備、機能の充実を図りつ と北東部と西部を結ぶ外縁軸 の創造に努めます。 配慮した、計画的な生活環境

の創造のため、土地利用の高 光に努めます。 市機能の強化と魅力ある都市 発事業等による都市基盤の拡 度化を促進すると共に、再開 商業系用地については、都

報化等の社会経済環境変化に 利用の用途純化や効率化に努 街地内に存在する工場の土地 めると共に、先端技術化、情 工業系用地については、市 **災害の防止、緑地の確保、** 要素として、保全に努めます 良好な環境、景観を形成する 安全の確保あるいは市民の憩 然環境の保全に配慮しつつ、 いの場などとして保全と活用 を図り、特に市街地内では、 河川、海岸等については、

と進んでいくことになるでし 減する仕組みづくり

画一型から個性化、多様化な のより個性的な生き方や生活 報化などにより、市民の価値 大、さらに、高学歴化や高度情 (2)市民生活の変化 目標の多様化であり、今後は 振調となるものは、市民生活 つつあります 観や生活意識が大きく変わり 二十一世紀に向けて、その 所得の上昇と自由時間の地

意識と相互挟助のニーズが高 児期から高齢期に至る健康で などのニーズの高まりや、幼 健康、生きがい、就労、居住 その結果、店齢者にかかわる たどることになるでしょう。 ら減少への転換という変化を

への対応が必要となります。 まるものと考えられます。 くり、地域社会における連帯

このため、次のような課題

・髙齢者にとって生きがいの

連帯意識と相互挟助の精神 ある社会的、経済的な環境

このため、

次のような課題

オーラムを聞くものです。今 続き第二回目のまちづくりつ がまとまりましたので、

#1 13

出席いただき、 催します。 塚は、こういう方向で進む。 て、ご意見をいただきます。 構想 (素楽)」の内容につい 市域を対象に 回は、地域別に分け七回、 まちづくりフォーラムは、 「私たちの地域はこう ſαĮ

仮称新平塚市総合計画基本 多くの市民のみなさんにご (下表のとおり) 「私たちの形 武八回開 仓

まちづくりフォ -ラムの 用 \Box 対象地区(目治会連合 8月20日(木) 港、花水、 なでしこは 8月21日(金) 崇善、松原、富士見知 8月25日(火) 四之宫、夏士、 八幡、 が丘、中原、 南原地区 8月27日(木) 田村、大神、 横内地区 8月28日(金) 豊田、城島、 岡崎地E 9月2日(水) 金目、 吉沢、 土屋地区 9月4日(金) 旭、金田地区 9月5日(土) 全市域(団体舎の)

※時間は、午後7時~午後9時30分まで。 午後2時~午後4時30分まで。

戦後 地 利 崩 0 構 想

③地域資源の発掘・再評価と

地域資源を発期、

再評価し、 本市の

資源のもつ潜在力を、

が存在しています。これらの

を図りつつ確保に努めます。

積極的活用

市内には、本市の歴史性を

活用するよう努めます。

新しい都市づくりに積極的に

3

土地利用の方向

自然環境との調和を図りな

市民の価値観の変化、

1

の多様化に対応すると共に、

都市としての骨格が形成され な資源である土地は、市民生 み、首都圏の主要な地域中心 あります。このような中で人 の形成に努めてきたところで 備を推進し、良好な都市基盤 市基盤の整備など市街地の整 を始め、産業用地の整備、都 てきましたが、限られた貴重 口の増加や産業等の集積が進 の戦災復興土地区画整理事業 中心市街地 金に努めます 然的、社会的、経済的及び文 L は であり、地域の発展に深いか Ħ 社会経済環境変化に十分対応 化的な諸特性を活かすと共に 史等に配慮しつつ、本市の自 かわりを有してもいます。 今後の土地利用に当たって 現在の土地利用形成の歴 計画的な整備、開発、保 産業諸活動を支える基盤 整合のもとで、将来人口に対 がら、都市基盤等の整備との (1都市的土地利用 反映して多種多様な地域資源

適な都市環境の創造に努めます。 然環境資源を有効活用し、快 応した市街地の計画的拡大を 地利用の合理化、用途純化を 用途との混在の解消など、土 関りつつ、海、川、丘陵などの自 好な居住環境の形成に配慮し つつ、未利用地の整序化、 住居系用地については、良 良好な環境の創造に配慮して

と日常生活の利便性の確保に 図ると共に、快適な居住空間 必要な用地の整備に努めま (2)自然的土地利用 周辺地域との調和を図りな

術の導入などにより都市近郊 民の余暇活動の場として用地 農業の基盤整備に努めます。 基盤として、また、市街地の な自然環境の保全に努めます 全と適切な管理を図り、良好 の確保に努めると共に、新技 緑地、オーブンスペースや市 めると共に、市街地緑地の保 がら、緑地の保全と創出を進 森林については、保健休養 農用地については、生産の

の振興

た暮らしや新たな事業機会、

創出するため、経営の近代化、 と親しめる多様な交流機会を の向上と併せ、市民等が産業 産業としての活力や自立性

勤労者が誇れる安全で快適

災を図ります

上を図り、健康で文化的な生

市量観形成の推進に努めま

国の財政問題、経済活動の停

ら、諸課題に対応した都市づ しつつ協議と連帯を図りなが

地方財政の今後の見通しは、

滞や社会経済情勢の変動の中

厳しい状況が続くものと

2行財政の計画的運営

め、地球の特性を活かした都 た都市空間の形成を図るた

住みよい快適な住環境の向

活を営むため、居住環境の充

市民の豊かで生き生きとし

①地域経済を先導する商工業 ある都市を目指します。 豊かな市民生活を支え、地域 済・産業構造の形成を図り、 る高度かつ多様な産業や技術

漁業・観光の創出 2地域特性を生かした機業。

形成に努めます。

経済の中心的役割を担う活力

を創出して、地域の新たな経

もつ豊かな工業の振興を図り

の振興、先暮的な高度技術を わいを創出する個性ある商業 成するため、サービスとにぎ

ます。

ーズやサービス経済化に応え

消費、情報などの新たなニ

以業機会を培う産業基盤を形

する活力ある湘南の都市 多様な産業と技術を創出

1 Ā ...

5

域に与える影響を認識し、多

市民一人ひとりの活動が地

展開を図るため、コミュニテ 岐にわたる地域活動の活発な

ィの充実、ボランティアの育

推進

3市民生活を築く地域活動の 福祉の推進に努めます。 進、老人福祉の推進、除害者 児童・母子 (父子) 福祉の推 送るため、地域福祉の充実 により、明るく快適な生活を な心のふれあいと互助の意識 慣れた地域社会の中で、温か

(児) 福祉の推進、低所得者

施策の展開

湘南の都市 ひらつか」を達成するための施 策の大綱は、次のとおりとします。 健康と生きがいに満ちた 「きらめく海 緑の丘 創造とうるおいの

> 能の活用に努めます。 活の安定・向上、高等教育機 成、環境美化の推進、消費生

ふれあいのある湘南の都市 4地域に根ざした男女共同社

社会の充実に努めます。 を基盤とした男女共同の地域 どの条件整備を進め、実生活 加の促進や学習機会の提供な 会の充実 地位向上を図るため、社会参 変化に対応し、婦人の社会的 婦人をとりまく社会情勢の

高齢社会を迎え、ますます

增進

、5安心して暮らせる環境整備 防力の整備・強化、防災機能す。 交通安全対策の強化、防犯体 暮らせる環境整備を図るため すべての市民が、安心して

①生涯にわたる健康の保持・ 市を目指します。 するなかでふれあいのある部 の社会参加や地域福祉を推進 基盤を確立すると共に、婦人 健康で安心して暮らせる生活 人ひとりが生きがいを持ち、 子供から髙齢者まで、市民

療の充実、

健康増進の環境づくりのため、 健・医療ニーズに応じた市民 多様化、高度化する市民の保

健康づくりの推進、保健・医

の生涯にわたる健康づくりと

側の強化、火災子防の推進、消 咨のない環境の確保に努めま 資源を活用して都市型農業の の拡充、環境衛生の向上、公 多角化を進めると共に、地域

能の充実 3地域をはぐくむ研究開発機 努めます。 振興、特色ある漁業の振興、 ふれあいのある観光の創造に

> を推進するため、うるおいの 会の確保と併せ、地域との有 な職場づくりや多様な就業機

ある就労環境の形成、市民と

機的かかわりのある産業活動

2

で、産業の限りない発展に不 社会環境変化の進展する中 共生する産業活動の醸成に努 5産薬を伸ばす情報基盤の形 めます。

4充実した就労・産業環境の 産業交流などに資するため、 育成、さらには多様な知識、 可決な技術の高度化、人材の 入、新しい知識、交流機能の 特色のある研究開発機能の導 高度な技術開発の基盤となる る人材育成等の情報環境の充 る情報交流の場の創出と併せ 産業の情報化やふれあいによ ため、商工業をはじめとする たな付加価値形成に活用する 能力など情報化社会に対応す 竹報に対する理解、活用する 高度情報化技術を産業の新

的な交通体系の整備、情報通

信機能の整備を推進します。

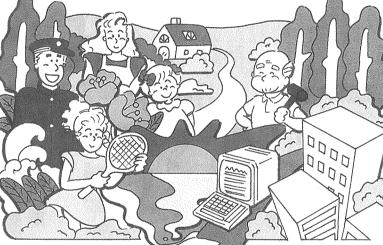
2良好な住環境の向上

るため、市街地の整備、機能

安全で快適な都市の形成を図 市活動に対応する機能的かつ 一計画的な市街地の形成

豊かな市民生活と活発な都

創出、水と緑のネットワーク



した快適な湘南の都市 都市活動と自然が調和

4

じ、誇りを抱くことができる 市機能と住むことに要着を感 どの自然が調和し、豊かな都 とけ込んだ、海、川、丘陵な 快適な都市を目指します 活発な都市活動と市民生活に 充実した基盤に支えられた 安全で快適な都市環境を形成 するため、自然緑地、水辺の 推進します 保金と自然にふれあえる場の 緑地の整備、下水道の整備を 恵まれた自然資源を活かし

河川の整備、都市緑化の推進 に努めます 魅力的で、豊かな表情をもっ 4喪情豊かな都市空間の形成 化が図れるような海岸の整備、 自然景観や街並みが美しく 策定及びその実施の過程にお などが積極的に都市づくりに 参加できるような施策の推進 が市民等に理解され、 に努めます。

3恵まれた自然の保全と活用 て、きめ細かな、より魅力あ あります。 る都市づくりを進める必要が 取り組み、市民が相互に、ま 的な都市づくりを進めるため 様化に対応した、多彩で個性 には、市民が主体として考え、 市民と行政が協力しあっ

りを進めるために、この構想 持てる個性ある地域社会づく 市民として、誇りと要者の 市民一人ひとりや民間 的、経済的な活動範囲は、 り日常生活圏は広かり、 すます広域化しつつあり、

各市町相互間の独自性に配慮 期的かつ総合的な視点から、 てくることが考えられます。 自然環境保全の問題など、単 った広域的枠組みの中で、 めには、近隣市町が一体とな 課題が、多種多様に顕在化し これらの課題に対処するた 市町の枠内では解決困難な

ぐV む魅力ある湘南の都市 豊かな人間性と文化をは

3

充实

生活の場である家庭と住る

2地域生活を重視した福祉の

エーションの振興と普及に努

間性のはぐくめる魅力ある都 機会を通して、豊かな心や人 11充実した学校教育の推進 で多彩な芸術、文化や学習の かよった教育を受けることが できると共に、身近なところ

推進と連帯

次代を担う背少年の自立心

3次代を担う青少年の自立の

を形成するため、地域に密着 を強い、併せて地域の一旦と

して自覚や誇りがもてる環境

年関係団体の充実に努めます

した青少年育成の推進、青少

第 6

4個性墨かな市民文化の高揚

基本構想の実現

市民生活の個性化や生活目

2 響びを感じる生涯学習の推 職害犯教育の充実を図ります。 充実、義務教育の充実、心身 性や創造性を培う幼児教育の 上に努めると共に、個々の特 育成するため、教育水準の向 もち気力に満ちた子供たちを 豊かな心と健やかな身体を 価値感の多様化などに伴う に努めます の充実、文化財の保存と活用

文化の振興、芸術・文化活動

本市では、従来より行財政

5内外に開かれた都市交流の

測をもつものであり、市民と 測をもつと共に、市民等の活 な行政運営の指針としての役 点にたった総合的かつ計画的 振興発展を展望し、長期的視

行政が協同してつくりあげて 動に際しての指針としての役

少ない経費で最大の市民福祉 すが、さらに、新たな行政需 受けとめ、従前よりその推進 事務の改善は、永遠の課題と 状が必要となるでしょう。 ては、新しい対応と厳しい選 予想され、政策形成に当たっ

が図れるよう、一層総合的か つ計画的な行政運営に努める

要や市民ニーズに対処しつつ に努めているところでありま 知的、文化的、精神的価値観 標の多様化の進展など市民の

この構想は、本市の将来の

の高まりに応えるため、市民

物館機能の充実に努めます。 充実、図書館活動の充実、博 公民館等における学習活動の な生涯学習の推進体制の整備、 などの整備を図るため、豊か 広範な分野における指導体制 市民の多彩な学習ニーズに応 生涯にわたる学習機会や 推進 市民活動や産業活動の国際

の交流を推進します と国際性の向上、友好都市と 分野にわたる国際交流の促進 文化、スポーツなどの広範な 化と併せ、市民のやすらぎと ふれあい志向に応えるため、 いくものであります、

目標の達成に努めるものとし を得ながら、総力を結集して しつつ、市民等の理解と協力 に当たっては、次の点に留意 そのため、この構想の実現

ものとします

多様な主体の参加による都

市づくりのうえで長期的な効

投資効果に終わることなく、都

また、公共投資が一過性の

市民のニーズの高度化、多 ます。 のフィードバックを行いなが の効果の把握や新たな施策へ 果を発揮するよう、常に施策

3広域行政の推進 ら、計画的な行政運営に努め

合変通体系や河川水質保全、 交通、通信網等の整備によ